



JAL不当解雇撤回ニュース

No486 号 2016.03.15
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

新浦安

駅前宣伝行動

アピールウォーク



3月5日、JAL 植木社長宅の最寄駅、新浦安で宣伝行動が行なわれました。この行動は、JAL の被解雇者を支援する千葉県実行委員会と JAL3 争議団(JAL 不当解雇撤回、日東整、マタハラ裁判)の共催し、今回で4回目です。ショッピングセンター等が立ち並ぶ駅前広場は、手を引かれた子供連れ、乳母車を押す家族や学生服姿が目立ちました。原告・支援者65名で900枚のチラシを配布。その後、社長宅周辺をアピールウォークし、航空関係者も多く住むこの地で更なる理解と支援を訴えました。

【右写真 駅北口】



2兆3千億円の負債詳細を納税者である国民に明らかにせず、人件費や高コスト体質にばかりをアピールした。燃油先物で1900億損失を出した人は、今も経営陣に残っている。経営の失敗を労働者に押し付けた。経営者のモラルハザードを防がなければいけない。(乗員原告和波さん)

街の声・反応

- 毎年儲かっているんだから、また雇えと片岡千恵蔵(植木社長?)に言えば。
- 破綻以降 JAL は使っていない。自分もセスナのライセンスを所持しているので、経験が大事なのは良く分かる。
- 元 JAL 地上職で、2010 年“解雇か希望退職か”を迫られ退職したが納得していない。久しぶりに理解し合える仲間と会えた。今後も協力したい。
- 植木社長在住のマンション郡の窓から複数の住民ジッと見ていた。
- 大きく手を振り「がんばれ～」の声援がかかる。



間違ったと思ったら、ためらうことなく軌道修正する。時間を費やしていると最悪の結果になる。
～社長就任時発言～



対話

安全

その決断が JAL の未来を決める!

約2ヵ月間で7件のエンジンに不具合が起きたのは異常事態です。原因はそれぞれ違うと思いますが、なぜ連続するのか、それを追及できるのは組合の仕事です。組合が声を上げなければ悲惨な歴史を繰り返してしまいます。組合を敵視するところに安全はありません。労務分裂政策のこの解雇を撤回し、正常な労使関係に戻すことが今、社長の最優先課題です。

パイロット出身で現場を知っている社長として、“安全の層の薄い”現状を分かっているながら、決断しないのは卑怯です。

今こそ貴方の存在価値を示してください。それが JAL の為なのですから。

